

## ■ 編集委員

小谷 典弘 (編集委員長)

秋岡 祐子 海田 賢一 解良 恭一 片桐 岳信 金子 優子 周防 諭

長谷川幸清 堀江公仁子 町田 早苗 若山 俊隆 (五十音順)

## ■ 編集後記

本号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年4月に編集委員長を拝命してから、もうすぐ1年となります。その間、いまさらながらですが、本雑誌の編集・出版プロセスを勉強させていただきました。その過程で、いくつかの点で改善が必要であると感じております。例えば、投稿原稿に関して、電子メールでのやり取りではなく、別途電子投稿システムに投稿できるようにしたいと感じております。本誌の発展を考えていく上で避けて通れませんので、来年度から徐々に進めたいと思います。

最近、研究関連で良いニュースがありました。科研費や国立大の運営交付金の増額が決まったとのこと。近年の研究予算については、別に減額されていないし現状維持されているとの声がありましたが、昨今のインフレで実質は減少しており、一刻も早い対策が求められてきました。前号の編集後記にも記しましたが、アメリカなどにおける研究関連予算への逆風は将来の科学発展を阻害しかねないと危惧しておりますが、本邦の場合はまずは一息といったところでしょうか。

本号には、原著1報をはじめ、総説2報、雑報1報、本学で開催された講演会要旨、その他が掲載されております。原著「A multicenter study of concurrent chemoradiotherapy-induced late toxicity and prognosis in locally advanced cervical cancer: The Gynecologic Oncology Trial and Investigation Consortium 008」については、局所進行子宮頸癌への化学放射線療法 (CCRT) の晩期毒性と予後との因果関係に関する後ろ向き研究の報告です。既存の様々な放射線治療法および免疫チェックポイント阻害剤を用いた新しい化学療法との比較の基礎を提供するものです。また、総説に関しては外部の先生お二人に執筆していただきました。いずれも大変興味深い内容ですので、是非お読み下さい。さらに、本号には学内グラント採択者の研究報告書も掲載されております。学内でどのような研究が行われているかを知る機会でもありますし、前述の研究費の獲得についても関連いたしますので、お読みいただけますと幸いです。

投稿いただいた著者の皆様、査読をお引き受けくださった先生方、そして編集作業にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

以上、編集後記とさせていただきます。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(小谷典弘)

## 埼玉医科大学雑誌

<https://www.saitama-med.ac.jp/research/jsms/>

第52巻 第2号

編集責任者

小谷 典弘

令和8年3月16日 印刷

令和8年3月31日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102/2030(直通) FAX 049(276)1860 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

製 作

レタープレス株式会社

広島市安佐北区上深川町809番地の5 電話(082)844-7500 <https://letterpress.co.jp/>